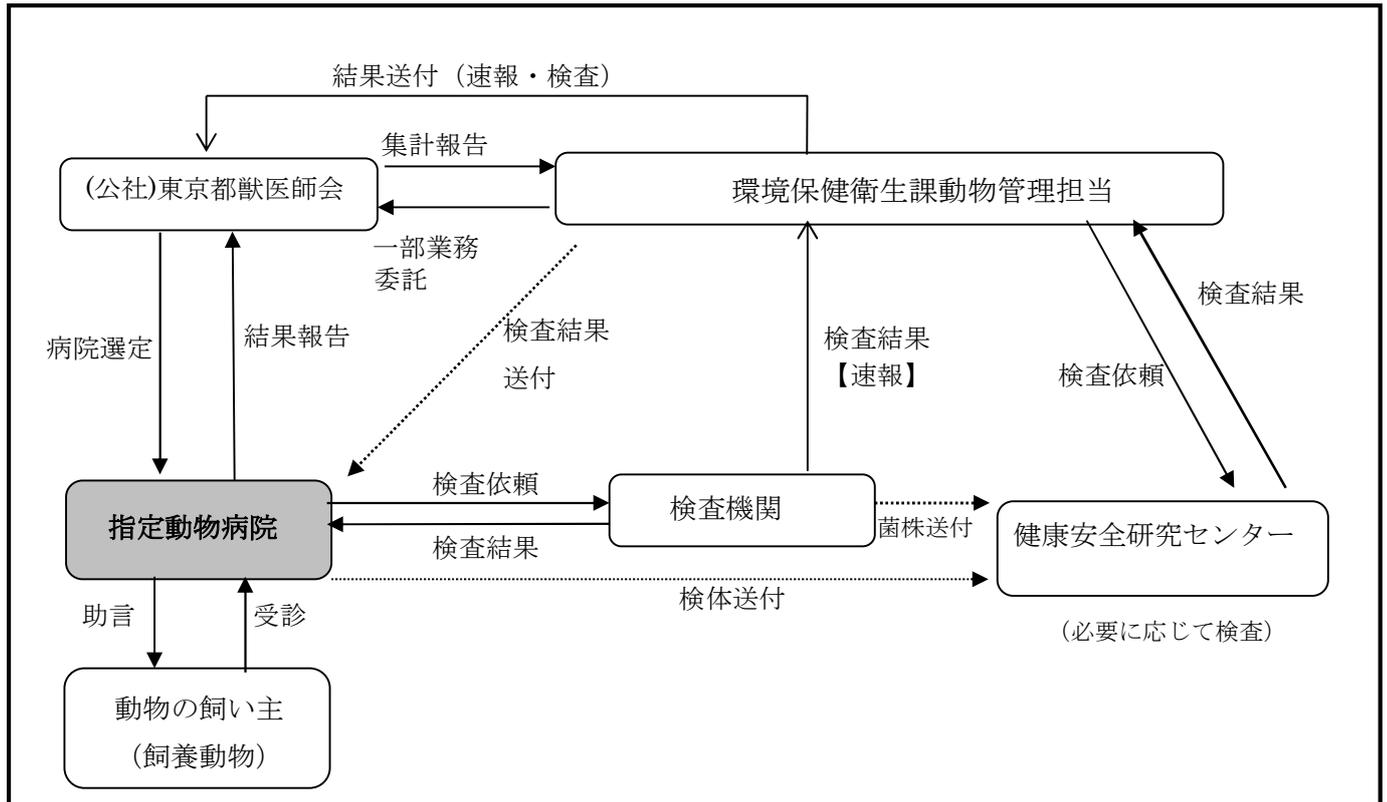


令和3年度動物病院における動物由来感染症モニタリング事業結果 (中間報告)

1 目的

動物由来感染症の動物での発生状況を把握するため、都内の動物病院における感染症の診断状況を集約し、動物由来感染症の人への感染を防止するための必要な措置を講じることが目的として本調査を実施した。

2 事業概要



1 モニタリング調査

【実施期間】 令和3年4月から令和4年3月まで

【調査対象動物】 指定動物病院を受診した犬・猫

【調査対象とする動物由来感染症】

犬	猫
皮膚糸状菌	皮膚糸状菌
疥癬	疥癬
回虫症	回虫症
コリネバクテリウム感染症	コリネバクテリウム感染症
犬ブルセラ症	トキソプラズマ症

【調査方法】 指定動物病院20病院における、月ごとの診察頭数及び調査項目に感染していると診断した頭数の報告を受ける。

2 サンプルング調査

【実施期間】 令和3年4月から令和4年3月まで

【調査対象及び検体数】

(1) 大腸菌

指定動物病院のうち病原体定点6病院において、飼い主から了承を得られた犬及び猫の糞便各84検体（計168検体）

(2) 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス

指定動物病院のうち病原体定点6病院において、飼い主から了承を得られた犬又は猫の口腔スワブ6検体（計6検体）

【調査対象とする病原体及び調査方法】

動物	検査項目	調査方法
犬・猫	腸管出血性大腸菌（EHEC） 薬剤耐性大腸菌	遺伝子検査法、 薬剤感受性検査法
犬・猫	SFTSウイルス	遺伝子検査法

【調査方法】

(1) 大腸菌

病原体定点病院から検査機関宛て、糞便検査を依頼する。検査機関において大腸菌が検出された場合は健康安全研究センターに菌株を送付し、検査を実施する。

(2) 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス

病原体定点病院から健康安全研究センターに、口腔スワブ検体を送付し、検査を実施する。

3 調査結果

(1) モニタリング調査

令和3年4月から同年9月まで、指定動物病院20病院を受診した犬、猫58,846頭について調査を行った。内訳は次のとおりである。

- ・ 犬 40,535頭（区部：26,978頭、多摩部：13,557頭）
- ・ 猫 18,311頭（区部：12,875頭、多摩部：5,436頭）

ア 犬の診断状況

受診した犬40,535頭のうち、12頭(0.03%)についてモニタリング対象の感染症と診断された。各疾病の内訳は、表1のとおりである。

表1 犬の診断状況

調査期間	受診頭数	陽性頭数（括弧内は陽性率）				
		皮膚糸状菌症	疥癬	回虫症	テリウム症 コリネバク	犬ブルセラ症
4月	7,513	0	0	0	0	0
5月	7,794	1 (0.01%)	0	0	0	0
6月	7,284	1 (0.01%)	0	1 (0.01%)	0	0
7月	6,333	3 (0.05%)	0	0	0	0
8月	6,163	1 (0.02%)	0	0	0	0
9月	5,448	3 (0.06%)	1 (0.02%)	0	1 (0.02%)	0
10月						
11月						
12月						
1月						
2月						
3月						
区部小計	26,978	8 (0.03%)	0	1 (0.004%)	0	0
多摩部 小計	13,557	1 (0.007%)	1 (0.007%)	0	1 (0.007%)	0
総計	40,535	9 (0.02%)	1 (0.002%)	1 (0.002%)	1 (0.002%)	0
(参考) R2年度 8月末時点	34,768	8 (0.02%)	1 (0.003%)	1 (0.003%)	2 (0.006%)	0

※ 動物病院で追加の検体採取を行い、健康安全研究センターにてコリネバクテリウム・ウルセラ
ンスの確定検査を実施したところ、検出されなかった。

イ 猫の診断状況

受診した猫18,311頭のうち、32頭(0.17%)についてモニタリング対象の感染症と診断された。各疾病の内訳は、表2のとおりである。

表2 猫の診断状況

調査期間	受診頭数	陽性頭数 (括弧内は陽性率)				
		皮膚糸状菌症	疥癬	回虫症	テリウム症 コリネバク	トキンプラズマ症
4月	3,024	3 (0.10%)	0	0	0	0
5月	3,051	2 (0.07%)	1 (0.03%)	2 (0.07%)	0	0
6月	3,222	0	0	5 (0.16%)	0	0
7月	3,174	3 (0.09%)	2 (0.06%)	3 (0.09%)	0	0
8月	2,987	1 (0.03%)	2 (0.07%)	1 (0.03%)	0	0
9月	2,853	2 (0.07%)	0	4 (0.14%)	1 (0.04%)	0
10月						
11月						
12月						
1月						
2月						
3月						
区部小計	12,875	9 (0.07%)	3 (0.02%)	10 (0.08%)	0	0
多摩部 小計	5,436	2 (0.04%)	2 (0.04%)	5 (0.09%)	1 (0.02%)	0
総計	18,311	11 (0.06%)	5 (0.03%)	15 (0.08%)	1 (0.01%)	0
(参考) R2年度 8月末時点	15,288	13 (0.09%)	1 (0.01%)	19 (0.12%)	1 (0.01%)	2 (0.01%)

(2) サンプル調査（大腸菌）

令和3年4月から同年9月までの計80検体（犬：43検体、猫：38検体）について調査した。内訳は次のとおりである。

- ・ 犬 43頭（区部：32頭、多摩部：11頭）
- ・ 猫 38頭（区部：25頭、多摩部：13頭）

犬については、調査した43頭のうち、39頭（90.7%）についてサンプル調査対象の菌が検出された。猫については、調査した38頭のうち、31頭（81.6%）についてサンプル調査対象の菌が検出された。内訳は、表3のとおりである。

表3 犬・猫の大腸菌調査結果

対象動物	地域	検体数	陽性検体数（陽性率）
			大腸菌
犬	区部	32	30(93.8%)
	多摩部	11	9(81.8%)
	総計	43	39(90.7%)
猫	区部	25	21(84.0%)
	多摩部	13	10(76.9%)
	総計	38	31(81.6%)

検査機関で大腸菌陽性となった大腸菌菌株については、健康安全研究センターにて遺伝子検査法により、腸管出血性大腸菌のベロ毒素（VT）遺伝子の有無を確認するとともに、薬剤感受性試験を実施した。

犬については、調査した大腸菌42株からVT遺伝子は検出されず、13株（31.0%）について薬剤耐性菌が検出された。猫については、調査した大腸菌38株からVT遺伝子は検出されず、9株（23.7%）について薬剤耐性菌が検出された。結果の詳細は表4、表5及び表6のとおりである。

表4 遺伝子検査結果

対象動物	菌株数	陽性菌株数
		腸管出血性大腸菌（EHEC）
犬	43	0
猫	38	0

表5 犬の薬剤感受性試験結果（薬剤耐性菌が検出された株のみ抜粋）

通し 番号	血清型	薬 剤															
		P I P C	A Z T	C E Z	I P M	M E P M	C T X	G M	C A Z	A M K	C F P M	M I N O	F O M	S T	C P D X	S / A	L V F X
1	06	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	R	S	S	S
2	01	R	R	R	S	S	R	R	R	S	S	S	S	R	R	R	R
3	OUT	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	R
4	OUT	R	R	R	S	S	R	S	I	S	R	S	S	S	R	S	R
5	0111	R	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	R	S	S	S
6	025	R	R	R	S	S	R	S	S	S	R	S	S	R	R	S	R
7	OUT	I	S	R	S	S	S	S	I	S	S	S	S	R	R	I	S
8	OUT	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	R
9	OUT	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	R
10	OUT	R	I	R	S	S	R	S	S	S	R	R	S	S	R	S	S
11	0153	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	R
12	025	R	S	R	S	S	R	S	I	S	R	S	S	S	R	S	R
13	OUT	I	S	R	S	S	R	S	R	S	S	S	S	S	R	R	S

S : 感受性、I : 中間、R : 耐性

表6 猫の薬剤感受性試験結果（薬剤耐性菌が検出された株のみ抜粋）

通し 番号	血清型	薬 剤															
		P I P C	A Z T	C E Z	I P M	M E P M	C T X	G M	C A Z	A M K	C F P M	M I N O	F O M	S T	C P D X	S / A	L V F X
1	OUT	R	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	R	S
2	025	R	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	I	S
3	OUT	R	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	I	S
4	OUT	R	S	R	S	S	R	S	S	S	I	I	S	S	R	S	I
5	OUT	R	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	I	S
6	086a	R	I	R	S	S	R	I	S	S	R	S	S	S	R	I	R
7	078	R	S	S	S	S	S	R	S	S	S	R	S	R	S	I	R
8	OUT	R	S	S	S	S	S	R	S	S	S	R	S	S	S	I	R
9	0153	R	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	R	S	I	S

S : 感受性、I : 中間、R : 耐性

(3) サンプル調査 (SFTSウイルス)

令和3年10月の計6検体について調査した(犬:1検体、猫:5検体)。内訳は次のとおりである。

- ・ 犬 1頭(区部:1頭、多摩部:0頭)
- ・ 猫 5頭(区部:3頭、多摩部:2頭)

6検体すべてにおいて、SFTSウイルス遺伝子は検出されなかった。内訳は表7のとおりである。

表7 SFTSウイルス遺伝子検査結果

対象動物	地域	検体数	陽性検体数
犬	区部	1	0
	多摩部	0	0
	総計	1	0
猫	区部	3	0
	多摩部	2	0
	総計	5	0